

# 緑化だより

No.93 平成26年4月号



ハナノキの雄花

- 緑化センターの希少な樹木(1)
- 野鳥の世界(カイツブリ)
- 植物 Q&A
- 研修会のお知らせ
- お知らせ・ご案内

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園  
〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail [hiroshima@ryokka-c.jp](mailto:hiroshima@ryokka-c.jp)



# 緑化センターの希少な樹木

## No. 1 ハナノキとアメリカハナノキ

ハナノキの名の由来は諸説あるようです。花をつけるものの、実がならないということからきたという説もあります。これはハナノキが雌雄異株なので、雄木についてはあてはまりません。しかし、おそらくは早春の花が美しいことからきているという説が有力であろうとされています。ハナノキはまた、新葉が赤いため、展葉時期も赤く染まり、さらに晩秋の落葉期にも鮮やかに紅葉します。ハナノキは年3回楽しめるといわれる所以です。

緑化センターでは、県木の森の横に雄木が1本あるのがよく知られていますが、そこから山に入っていくと、道沿いに数本植えられていて、ハナノキの小路と呼ばれ、3月下旬～4月上旬に開花します。

ハナノキ(別名ハナカエデ)によく似たアメリカハナノキ(別名ベニカエデ)は、多目的広場入口と見本園にあります。アメリカハナノキは、北アメリカ東部では、犬も歩けばアメリカハナノキにあたる、と言われるくらい至る所に生えているそうです。ハナノキの葉は浅く3裂しますが、アメリカハナノキの葉は、はっきりと3～5裂します。(川上)



ハナノキの紅葉



アメリカハナノキの葉

# 野鳥の世界

## カイツブリ

春、サクラの花が咲く頃になると、センター池の水面も明るいうす緑色を帯びて水ぬるむ表情を感じます。そんな時ポツンと水面に浮かぶカイツブリに出会うとこれから来る春がますます楽しみになります。

カイツブリは、水草の茂る池や湖沼、広い河川に好んで棲み、普段は人目につきにくい馴染みの薄い小型の留鳥です。

センターのカイツブリも、普段は道路側から離れた岸に沿って目立ちません。観察できたカイツブリは、前年生まれた若い個体のようで、体も小さく、色も薄く白みが強く見えています。一丁もぐりの別名があるように、日常は水面を泳いで移動し、頭からポックリ潜り、小魚や水生昆虫を餌にしています。両足は体の後方についていて、水をかくには都合がよいのですが、歩くには適していません。



カイツブリ(ヒナ鳥)



初夏に水草を利用して浮き巣を作り、歩くのは巣の上を数歩くらいで水面から離れることはほとんどありません。生まれて間もないヒナ鳥でも巣の近くを泳ぎ、早くから水に親しむようです。2週間もすれば親鳥の後を追って泳ぎ、体温が下がると親鳥の背中に上って、羽の下から顔を出している様子が観察されます。

水鳥の数が減少している近年、水草を増やし適した環境を作る必要があると思われます。マコモ、ヨシ、ガマ、ヒシであれば、寒さにも強く、巣材としても利用でき繁殖の可能性にもつながるのではないのでしょうか？（吉見）

## 植物 Q&A

Q )サクラの幹に空洞ができているが手当の方法は？

A )サクラに限らず、古木になると幹に空洞ができ、ひげの様に細い茎や太い幹の様なものが出てきます。これを不定根と呼んでいます。不定根は完全な空洞の中にある場合もあれば、腐朽しておがくず状になった幹内にある場合もあります。この不定根を大切に育てることで、新しい幹が発生し木の更新の手助けをします。

先日、岡山県真庭郡新庄村の凱旋桜の数本に空洞ができ、その治療を、樹木医の指導で行ったニュースがNHKで放映されました。

治療は、空洞内の腐った木くずを取り除き、充填材を詰め、外部を被覆する方法でした。充填材には木質繊維を用い、皮膜はビニール製の覆いを使用しており、1年程度で覆いをめくって内部を観察するという方法でした。この方法は、老木回復のためには有効な手段です。

ただ、充填する材料、覆いには絶対的なものが無いようで、空洞内の腐敗を進めないで、不定根が発育できる材質であれば、利用は進められるべきだと思います。

現在、ボランティア団体によるサクラの手入れを行っている「土師ダム」「宮島」「錦帯橋」では、老樹に空洞が生じたものもあり、老樹のそれぞれの部位を考慮した手当を行っています。事例を重ねることにより、より適格な手法が見いだせると思います。

ご質問のサクラに限らず、空洞ができている老木の事例の相談を受けることがありますが、常緑、落葉を問わず広葉樹に多いようです。

樹勢が弱るのは、空洞内の不定根を切断して除去されたものにみかけます。以前は、ヒコバエと胴吹きは必ず切り取ることで、そうしないと頂部に行く栄養を取ることで、樹が衰弱すると指導を受けていましたが、現在は胴吹きを残すことにより、不定根から伸びた幹の成長に役立つことがあると伝えていきます。いびつになった樹形を、新しい幹を伸ばすことにより直すこともできています。不定根を育て樹木の更新も行うことも出来ます。（正本）



腐朽した幹から出た不定根

# 研修会のご案内

- 4月6日(土) 『4月の自然探勝』 10:00~12:00 管理事務所前 集合  
タムシバの花は? 講師: 環境省希少野生動植物種保存推進員 吉野 由紀夫
- 4月20日(日) 『山菜教室』 10:00~12:00 学習室 集合  
山菜とその料理方法について学び試食します  
※ 予約締め切りました。 講師: 森林インストラクター 長井 稔  
森林インストラクター 横田 登美子
- 4月24日(木) 『八重桜めぐり』 10:00~12:00 管理事務所前 集合  
八重桜を中心に遅咲きの桜を観察しよう 講師: 植物研究家 中塚 道則

## ♪☆お知らせ・ご案内☆♪

### ◎ 展示会のお知らせ

展示場所: 学習展示館

#### 緑化センターのサクラ写真展

展示場所: レストハウス

#### 趣味の手作り作品展

3月9日(日) ~ 4月16日(水)

#### 絵手紙作品展

4月1日(日) ~ 30日(水)

#### ビーズクラブ「ダリア」作品展

4月18日(日) ~ 5月28日(水)

### ○ イベント

#### 春のおでかけキャンペーン

(広島市森林公園と共催)

~5月25日(日)

両園でスタンプを集めて景品ゲット!

さくら祭り 3月29日(土) ~ 4月28日(日)

#### さくら祭り

#### お楽しみイベント

4月13日(日) 10:00~15:00

場所: レストハウス前

- ・折紙ヒコーキとばし
- ・ノルディック・ウォーク
- ・ネイチャーゲーム
- ・ペンダント作り
- ・丸太切り体験
- ・フリーマーケット
- ・さくら餅(さくら茶付)、花苗、わた菓子・焼いも販売

#### みどりの集い

4月29日(火・祝) 10:00~15:00

場所: 多目的広場ほか 雨天決行

無料シャトルバス(県庁前より2便)

和太鼓、朝採り野菜販売など緑に触れながら盛りだくさんのイベントをお楽しみ下さい。詳しくはチラシやHPでご確認ください。



H.24年度の絵手紙作品展より



表紙: カエデ科の落葉高木  
葉が出る前、各枝に小さな花をつけ、  
樹木全体が赤く見える。  
紅葉も大変美しい。